まちの話題

6/17 大きく元気に育ててね

JPGS㈱松浦火力運営事業所、九州電力㈱松浦発電所

発電所近隣の保育施設10か所に560人分の花苗が届けられました。

この取り組みは、6月の環境月間の一環として、環境への意識を高めてもらおうと2社合同で行われています。

17日には、ほしか保育園の園児に花苗が届けられ、「きれいなお花をありがとうございます。大切に育てます」ときりん組の子どもたちが代表して感謝を伝えました。

6/21 めざせ！今福ファミリー

今福地域まちづくり運営協議会

今福地域まちづくり運営協議会の設立総会が開催され、初代会長に副島茂さんが選出されました。

まちづくり計画では、「めざせ！今福ファミリー」を将来像に掲げて、既存イベントの拡充や今福の歴史や伝統を守り伝えていきます。

また、今福町民全員を一つのファミリーと捉え、一人一人が暮らしやすいまちを目指して活動される予定です。

6/29 新しく楽しい暮らしをつくろう！

福島地域まちづくり運営協議会

福島地域まちづくり運営協議会の設立総会が開催され、初代会長に川浪勇太さんが選出されました。

まちづくり計画では、「福々の島の新しく楽しい暮らしをつくろう！」を将来像に掲げて、世代間交流の場所や機会をつくり、みんなで支え合える福島を目指しながら、今ある伝統行事や伝統文化などの維持に努めていくことを目標に掲げられています。

7/1 明るい社会を支える地域のチカラ

第７５回社会を明るくする運動

社会を明るくする運動強調月間の取り組みが市内各地で行われました。

福島・鷹島地域においては、車両による広報や啓発物資の配布を行い、明るい社会づくりを呼び掛けました。

また、松浦地域では、内閣総理大臣メッセージ伝達式が市役所前で行われ、平戸・松浦地区保護司会松浦分区など 13 団体、約 50 人が参加し、犯罪や非行のない明るい地域社会の実現に向け、心をひとつにしました。

7/5 海開き前に安全を祈る

大崎海水浴場海開き祈願祭

御厨町にある同海水浴場の海開き前に、今シーズンの安全を願って大崎海水浴場組合主催による祈願祭が執り行われました。

今シーズンは、７月 12 日から８月 11 日までの遊泳期間となり、毎年海水浴やキャンプを楽しむ人でにぎわいます。

白い砂浜の海岸線が約 150㍍も続くロケーションで、ウインドサーフィンなどのマリンスポーツを楽しむスポットとしても人気です。

7/6 思いを語り　想いをつなぐ

第２回青少年の主張

中尾　颯希さん

前濱　ニコさん

松浦市青少年健全育成連絡協議会（柴田則史会長）が主催する同大会が文化会館で開催され、市内小中学校から選ばれた代表 11 人がそれぞれの思いや考えを発表。

審査は中学生の部のみ行われ、最優秀賞として、中尾颯希さん（志佐中３年）の「『弱さ』を認め、頼ること」、優秀賞として、前濱ニコさん（福島中３年）の「兄の言葉」が選ばれました。

中尾さんは、８月 20 日に開催される「少年の主張長崎県大会」に出場します。

7/13 地域防災の要として

令和７年度松浦市消防団夏季訓練

同訓練が市消防本部で行われ、市内の消防団全地区から約 180 人の消防団員が参加しました。

各地区に分かれての訓練礼式から始まり、後半は団員の安全管理、機械運用、そしてホース延長と、各階級に応じて実施。

猛暑の中にも関わらず、団員それぞれが真剣な表情で励んでいました。

今後も日常における災害の未然防止や被害の軽減に向けた地域防災の要として期待されます。

6/26 中学生が市役所の仕事を体験

中学校職場体験学習

市内の中学校では、働く大切さや勤労意識を養うことを目的に同学習を行っています。

生徒は自身の希望する職種を選び、市内のさまざまな事業所で２～３日間体験します。

今回は、市役所を訪れた３人のうち、志佐中学校３年の有安綺良さんと田中宋磨さんが、市報づくりに取り組みました。生徒が作成した記事を紹介します。

志佐中学校３年生の職場体験学習に密着！！

私たちは今福町にある「福井製菓店」での宮本琴音さんと大庭才知さんの同学習を取材しました。

「福井製菓店」は 1923 年に創業。菓子の製造販売を行っており、今年で 102 年目となります。宮本さんと大庭さんは材料の正確な計量やコツなどを教わり、楽しみながらも、真剣な表情で取り組んでいました。２人は「精密な作業が多く、難しかったが楽しく取り組むことができた。この体験を今後に活かしていきたい」と話しました。

店主の福井さんは「この体験が将来を考える上で少しでも役に立ったら嬉しいです」と笑顔で話してくれました。

人気のお菓子なアジフライ